

資料提供

石川県立美術館

報道各位

日頃から当館の広報につきましてご協力をいただき、ありがとうございます。

平成30年11月24日（土）～12月24日（月・休）の間、「東京国立近代美術館工芸館名品展」を別紙のとおり開催します。

以上、ご案内申し上げますとともに、広報宜しくお願い致します

東京国立近代美術館工芸館名品展

いろどりとすがた

ガラス・染織・人形・金工から

平成30年11月24日（土）～12月24日（月・休）

【資料提供】

石川県立美術館

金沢市出羽町2番1号

電話 076-231-7580

担当：普及課 前多

URL ; <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>

E-Mail ; ishibi@pref.ishikawa.lg.jp

東京国立近代美術館工芸館名品展

いろいろとすがた ガラス・染織・人形・金工から

平成30年11月24日(土)～12月24日(月・休)
石川県立美術館 第5展示室



藤田喬平《虹彩》1964年 東京国立近代美術館蔵

政府関係機関の地方移転の一環として、東京国立近代美術館工芸館が移転することとなり、石川県金沢市に日本海側初の国立美術館が誕生します。

独立行政法人国立美術館、石川県、金沢市では、移転に向けた気運の醸成を図るため、実行委員会を組織して、移転までの毎年度、県内で東京国立近代美術館工芸館の所蔵品を紹介する展覧会を開催することとしました。

三回目となる本年度は、工芸作品の中でも、特に色彩や造形の美しさを堪能できる「ガラス」・「染織」・「人形」・「金工」の分野から、重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品をはじめとした55点を紹介します。

主な出品作品	藤田喬平	《虹彩》	1964年
	芹沢銈介	《麻地型絵染いろは六曲屏風》	1958年
	平田郷陽	《遊楽》	1958年
	佐々木象堂	《蠟型鑄銅置物 瑞鳥》	1958年

問い合わせ先

〒920-0963 金沢市出羽町2番1号 石川県立美術館
電話 076-231-7580 FAX 076-224-9550

開催概要

- 会 期 平成30年11月24日(土)～12月24日(月・休)
開館時間 午前9時30分～午後6時 (入館は閉館30分前まで)
主 催 「東京国立近代美術館工芸館名品展」等実行委員会
石川県・金沢市・東京国立近代美術館
後 援 文化庁・北國新聞社
会 場 石川県立美術館2階第5展示室
アクセス JR金沢駅から兼六園シャトル「県立美術館・成巽閣前」下車徒歩2分
北陸自動車道金沢西・金沢東・金沢森本インターより20～30分
〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1
- 観覧料 一般360円(290円) 大学生290円(230円)
* ()内は20名以上の団体。
高校生以下は無料 65歳以上は人数に関わらず290円。
※上記観覧料でコレクション展もご覧いただけます。
※12月3日(月)は無料観覧日です。

イベント情報

内容や日程については変更の可能性があります。最新情報はHPでご確認ください。

- ◆講演会&ミュージアムコンサート(参加無料、申込不要)
日時 12月15日(土)午前10時30分～(開場10時)
会場 石川県立美術館ホール
内容 ①ミュージアムコンサート「和洋の織りなす夢幻」(午前10時30分～)
能舞:渡邊荀之助氏、ヴァイオリン:坂口昌優氏、ハーブ:上田智子氏
②講演会「近現代の染織」(午前11時～12時)
講師:小笠原小枝氏(日本女子大学名誉教授・東京国立博物館客員研究員)
- ◆アーティストトーク(要観覧料、申込不要)
日時 12月9日(日)午後2時～
会場 石川県立美術館第5展示室
講師 三代畠春斎氏(金工家・出品作家)
- ◆ギャラリートーク(要観覧料、申込不要)
日時 11月24日(土)、12月16日(日)、23日(日)、24日(月・休)
いずれも午前11時～
会場 石川県立美術館第5展示室
- ◆タッチ&トーク(要観覧料、申込不要)
日時 12月2日(日)午後2時～
会場 石川県立美術館第5展示室ほか
工芸館オリジナル鑑賞プログラム。〈さわってみようコーナー〉と会場トークの2部構成で、さまざまな角度から展覧会の見どころを紹介します(約1時間)。
※当日申込受付・先着10名

(参考)

東京国立近代美術館工芸館は、陶磁、ガラス、漆工、木工、竹工、染織、人形、金工、工業デザイン、グラフィック・デザインなど、近現代の工芸およびデザイン作品を展示紹介する東京国立近代美術館の分館として、昭和52(1977)年11月15日に開館し、平成30年3月末現在、約3,800点を所蔵しています。

建物は、明治43(1910)年3月に建てられた、陸軍技師・田村鎮の設計による、近衛師団司令部庁舎を改修して美術館仕様としたものです。

この建物は第2次大戦後、一時期荒廃して放置されており、取り壊しの対象となりましたが、明治洋風煉瓦造建築の一典型として、また、その建築的価値を惜しむ声がよせられ、昭和47(1972)年9月に、「重要文化財に指定のうえ、東京国立近代美術館分室として活用する」旨の閣議了解がなされ、同年10月、「旧近衛師団司令部庁舎」として重要文化財に指定されました。

外観と玄関、広間の保存修理工事を施し、谷口吉郎による展示室の設計に基づく内部の改装によって、工芸部門の展示施設として再生され、東京国立近代美術館工芸館として開館しました。修復にあたって、屋根は建築当初のスレート葺に復元され、正面ホールから2階に伸びる両袖階段に往時の重厚な装いを見ることができます。ゴシック風の赤煉瓦の簡素な外観は、四季折々に周辺の樹木と調和して、独特のたたずまいをみせています。



東京国立近代美術館工芸館 外観

広報用図版 請求票 FAX : 076-224-9550 広報担当 行

発信日 年 月 日

✓欄	No.	作家名	作品名	制作年
	1	藤田喬平	虹彩	1964年
	2	芹沢銈介	麻地型絵染いろは六曲屏風	1958年
	3	喜多川平朗	能衣装唐織黒紅段	1962年
	4	平田郷陽	遊楽	1958年
	5	面屋庄甫	根っこの唄	2013年
	6	高橋禎彦	花のような	2004年
	7	佐々木象堂	蠟型鑄銅置物 瑞鳥	1958年
	8	鹿島一谷	布目象嵌露草文銀四分一接合水指	1977年
	9	三代畠春斎	流水文四方釜	2013年

- ご希望の図版の番号左に✓を入れてFAXでお送りください。
- 作品図版はJPEGデータをご用意しています。
- 展覧会広報のみにご使用ください。
- キャプションには東京国立近代美術館蔵と明記してください。
(例：藤田喬平《虹彩》1964年 東京国立近代美術館蔵)
- 著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- 掲載見本を広報担当者へご寄贈ください。(Webサイトの場合は掲載時にお知らせ下さい)

ご担当者名：

E-mail：

貴社名：

出版物・放送番組・ウェブサイト名：

URL (<http://www>

)

掲載予定号・発行日/放送・公開日時等：

電話番号： ()



① 藤田喬平



② 芹沢銈介



③ 喜多川平朗



④ 平田郷陽



⑤ 面屋庄甫



⑥ 高橋禎彦



⑦ 佐々木象堂



⑧ 鹿島一谷



⑨ 三代畠春斎

いろいろどり

東京国立近代美術館工芸館名品展

とすきがた

ガラス・染織・人形・金工から

2018

11.24 (sat)

-12.24 (mon)

9:30-18:00

(入館は17:30まで) 会期中無休



石川県立美術館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

期 間／2018年11月24日(土)～12月24日(月・休) 9:30-18:00(入館は17:30まで)

観覧料／一般360(290)円、大学生290(230)円

○()内は20名以上の団体料金。上記観覧料でコレクション展もご覧いただけます。

○高校生以下無料。入館の際、学生証をご提示ください。

主 催／「東京国立近代美術館工芸館名品展」等実行委員会・石川県・金沢市・東京国立近代美術館

後 援／文化庁・北國新聞社

いろいろ と すがた

ガラス・染織・人形・金工から

東京国立近代美術館工芸館は、2020年为目标に石川県へ移転いたします。それに先がけ、2016年より、石川県立美術館を始め石川県内にて工芸館のコレクションをご紹介しています。これまで工芸館では、明治以降から近・現代の作家による作品を、約3800点以上収集してきました。本年度はその中から、「ガラス」、「染織」、「人形」、「金工」分野の作品、約50点をご紹介いたします。

作品を鑑賞する際、まず捉えられる造形要素として、「色」や「形」があげられます。工芸において、それらの要素は、素材や技法などの特性と結び付き、表現されています。本展では、作品の“いろいろ”や“すがた”を通して、作家の探求から生まれる多彩な表現をお楽しみください。



表 藤田喬平(虹彩)1964年

- ① 芹沢銈介(麻地型絵染いろは六曲屏風)1958年
- ② 喜多川平朗(能衣装唐織黒紅段)1962年
- ③ 平田郷陽(遊楽)1958年
- ④ 面屋庄甫(根っこの唄)2013年
- ⑤ 高橋禎彦(花のような)2004年
- ⑥ 佐々木象堂(蠟型銅置物 瑞鳥)1958年
- ⑦ 鹿島一谷(布目象嵌露草文銀四分一接合水指)1977年
- ⑧ 三代畠春斎(流水文四方釜)2013年

※いずれも東京国立近代美術館蔵



④



①



②



⑦



⑧



⑤

■講演会&ミュージアムコンサート 申込不要/参加無料
12月15日(土) 10:30~12:00(開場10:00)

◎ミュージアムコンサート
10:30~11:00 「和洋の織りなす夢幻」

◎講演会
11:00~12:00 「近現代の染織」
小笠原小枝氏(日本女子大学名誉教授・東京国立博物館客員研究員)

■アーティストトーク 申込不要/要観覧券
12月9日(日) 14:00~15:00 三代畠春斎氏(金工家・出品作家)

■ギャラリートーク 申込不要/要観覧券
11月24日(土) 11:00~12:00 唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課長)
12月16日(日) 11:00~12:00 石川県立美術館学芸員
12月23日(日) 11:00~12:00 石川県立美術館学芸員
12月24日(月・休) 11:00~12:00 成田暢(東京国立近代美術館工芸課特定研究員)

■タッチ&トーク 申込不要/要観覧券
12月2日(日) 14:00~15:00 西岡梢(東京国立近代美術館工芸課研究補佐員)
工芸館オリジナル鑑賞プログラム。<さわってみようコーナー>と<会場トーク>の2部構成で、さまざまな角度から展覧会のみどころを紹介します。
※当日申込受付・先着10名



ACCESS

■バスご利用の方
JR金沢駅から兼六園シャトル乗車15分
「県立美術館・成翼閣」下車 徒歩2分

■自家用車
北陸自動車道金沢西IC、金沢東IC、金沢森本ICより20~30分



石川県立美術館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1
TEL 076-231-7580 <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>

東京国立近代美術館工芸館 移転連携事業

0才からのファミリー鑑賞会
12月1日(土) 13:30~12月2日(日) 10:00~
※定員:各回30名 要申込

トイベント「赤ちゃんや小さい子どもたちと美術館」
12月1日(土) 15:00~16:30
講師:富田めぐみ氏(赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)
※いずれも石川県立美術館にて開催

特別展「茶の湯の道具 Modern & Classic」
10月26日(金)~12月9日(日)
※金沢市立中村記念美術館にて開催

講演会&ミュージアムコンサート

TOKYO 2020
文化
オリンピック



近現代の 染織 in 石川県立美術館

参加費
無料

事前申込不要

平成30年

とき

12月15日 土

10:30~12:00 (開場10:00)

ところ

石川県立美術館ホール

講演会

「近現代の染織」

長年、日本・東洋の染織研究に携わってきた小笠原小枝氏が、石川県の誇る能楽を支える能装束にも触れながら、近現代の染織の歴史について講演します。

講師



小笠原 小枝 氏
(日本女子大学名誉教授)
(東京国立博物館客員研究員)

司会



平見 夕紀
(フリーアナウンサー)



渡邊 荀之助 氏
(能楽師)



坂口 昌優 氏
(ヴァイオリニスト)



上田 智子 氏
(ハーピスト)

ミュージアムコンサート 「和洋の織りなす夢幻」

坂口昌優氏と上田智子氏の奏でる「夢」の世界に、石川県の伝統芸能を代表する加賀宝生を今に伝える能楽師・渡邊荀之助氏が舞います。きらびやかな能装束にもご注目ください。

県立美術館にて開催 11月24日(土)~12月24日(月・休)

東京国立近代美術館工芸館名品展「いろいろとすがた ガラス・染織・人形・金工から」

東京国立近代美術館工芸館が所蔵する「ガラス」、「染織」、「人形」、「金工」分野から、約50点をご紹介します。作品のいろいろとすがたを通して、作家の素材や技法への探求から生まれる多彩な表現をお楽しみ下さい。



喜多川平明(能衣装唐織黒紅段)1962年 東京国立近代美術館蔵



佐々木象堂(蠟型鑄銅置物 瑞鳥)1958年 東京国立近代美術館蔵

近現代の染織 in 石川県立美術館

平成30年

とき **12月15日土** ところ 石川県立美術館ホール
10:30~12:00(10:00開場)

出演者プロフィール

10:00開場 10:30~

ミュージアムコンサート「和洋の織りなす夢幻」



わた なべ けんじの すけ
渡邊 荀之助 氏
(能楽師)

1949年金沢市生まれ。4歳で初舞台を踏み、東京において宝生流宗家の内弟子として研鑽したのち、「石橋」「道明寺」「乱」「翁」等数々の大曲を披かれ、国内外の舞台においてシテを務めるなど能楽一筋に真摯に修練を重ねる。西洋音楽に対する造詣も深く、数多くのコラボレーション作品に出演され、昨年「いしか

わ・金沢 風と緑の楽都音楽祭」で上演された「能舞とモーツァルト」においては、洗練された能舞と流麗なクラシックとの融合による幽玄の世界を繰り広げ、多くの観客を魅了した。また、加賀能楽座を主宰し、多くの門弟の育成に尽力するなど、能楽の継承にも力を注いでいる。



さか ぐち ま ひろ
坂口 昌優 氏
(ヴァイオリニスト)

野々市市出身。4歳より母の手ほどきでヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を首席で卒業し、同大学を経て同大学研究科を修了。2004年にいしかわミュージックアカデミーIMA音楽賞を受賞し、海外でも活躍。これまでに故久保田良作、田淵洋子、原田幸一郎、堀米ゆず子の各氏に師事。

うえ だ とも こ
上田 智子 氏
(ハーピスト)

金沢市出身。第6回ヨーロッパ国際音楽コンクールハーブ上級部門において第1位を審査員全員一致により受賞。OEK定期サントリーホール公演にて、岩城宏之指揮のもと、コンチェルト演奏をするなどOEKとの共演は多数。現在、全国で演奏活動を繰り広げているほか、作曲も意欲的に行っている。CDも多数リリースされている。



11:00~

講演会「近現代の染織」



【講師】
お が さ わ ら さ え
小笠原 小枝 氏
(日本女子大学名誉教授)
(東京国立博物館客員研究員)

1942年愛媛県生まれ。東京芸術大学美術学部芸術学科卒業。東京国立博物館調査員、東京芸術大学非常勤講師などを経て日本女子大学助教授、教授を歴任。現在、日本女子大学名誉教授、東京国立博物館客員研究員。専門は日本・東洋染織の比較研究。主な著書に「日本の美術」「更紗」(1980年)『金襴』(1984年)『染織(中世編)』(1988年)『緋』(1992年。以上至文堂)、『船載の染織』(中央公論社、1983年)、『染と織の鑑賞基礎知識』(至文堂、1998年)、『ジャワ更紗—いまに生きる伝統』(共著、小学館、1999年)、『別冊太陽 更紗』(監修、平凡社、2005年)、『中国絹織物全史—七千年の美と技』(監修、2015年、[発行]科学出版社東京[発売]国書刊行会)、『名物裂の研究 鴻池家伝来の仕覆解袋』(編著、国書刊行会、2018年)などがある。

【司会】
ひら み ゆふ き
平見 夕紀 氏 (フリーアナウンサー)



石川県七尾市出身。石川県立七尾高等学校、法政大学卒業後、1995年テレビ金沢入社。夕方ワイド情報番組「じゃんけんぼん」などの司会を務め、2006年3月退社。以降、フリーランスで、自治体の式典、各種イベント、シンポジウムなどの司会、学校や民間企業での講演、番組出演などで活動中。

【主な出演番組】

在局中:「昼Nワイド」「じゃんけんぼん」、「ふるさと再発見」、日本テレビ特番ニュース大賞にて「ベストアナウンサー賞」受賞
退社後:「じゃんけんサタデー」、「花のテレ金ちゃん」、各種特番等出演
現在:「いしかわ大百科」石川県教育委員会、「カラダ大辞典」に出演中

■お問い合わせ

「東京国立近代美術館工芸館名品展」等実行委員会(石川県文化振興 課内) 平日9:00~17:00 TEL:076-225-1371